

2022年度

事業計画書

学校法人 正和学園

小規模保育所

つながり保育園・原町田β

1、基本理念「いきいき」

「いきいき」

私たちは、子どもたちがいきいきと躍動感にあふれる姿を見せることこそが健全な保育が実施されている証明になると信じます。

子どもの成長・発達に寄与する人はすべて保育者と考えます。

2、保育方針

「子ども中心」

①子どもたちは健全に育つ力を持っています

②子どもたちは素敵な学び手です。

③子どもたちは未来を築く参加者の一員です。

④好奇心、創造力、感動力において、子どもたちは大人の知らない世界を感じとっています

⑤多様性こそが、力強く新しい未来をつくる大きな要因です。

私たちは、これらの事実を認め、子どもの育ちを中心に保育を展開しています

3、保育目標

上記の基本保育方針を達成するため、次の保育目標を掲げ日々の保育を行います。

まちぐるみの保育を地域・家庭・子どもと共に

・多様性を大切に新たな可能性を見つける保育

・「であい」「ふれあい」「ひろがる」保育

4、施設事業運営

(1) クラス編成及び入所児童数 (4月1日)

[つながり保育園・原町田β]

1歳児9名 (利用定員9名)

2歳児10名 (利用定員10名)

合計 19名 (利用定員19名)

(2) 開所時間

7:00～19:00

【教育時間】

保育標準時間

7:00 18:00 19:00

最大11時間 (利用可能な時間帯)	延長保育
-------------------	------

保育短時間

7:00 8:30 16:30 19:00

延長保育	最大8時間 (利用可能な時間帯)	延長保育
------	------------------	------

(3) 保育料

保育料町田市に一任。延長保育料は以下のとおり。

30分：100円

おやつ代：(18:10) 100円

5、児童の処遇

(1) 教育・保育内容

教育・保育計画に基づき、養護と教育が一体となった総合的な活動を展開する。

養護	* 子どもの安全・健康管理には十分配慮し、落ち着いた環境の中で生活できるように環境・設備を整える。 * 一人ひとりの家庭環境・発達状況に応じ、基本的な態度が身につくようにする
人間関係	* 人とのかかわりの中で、人を思いやり、人に感謝する気持ちを育てる
言葉	* 喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を育てる
遊び (自然) (表現)	* 運動——身体を使った遊び。 * 構造——玩具を組み合わせるなど構成する遊び。 * 創造——イメージを膨らませて表現する遊び。 * 想像——模倣・世話・役割遊び。 * 言語——言葉に関する遊び。 * 音楽——音楽に関する遊び。 * 感覚——互換・操作・探索遊び。農園・栽培活動。

※園だより「よくばりな日々」・保健だより・キッチンだよりを毎月配布

※その他日々の連絡について、1～2歳児は各自の連絡を密にする。その日の活動内容・様子等を掲示し、保護者に伝える。

※ドキュメンテーションやポートフォリオ、ストーリーパークなどの「保育の見える化」を推進する。

(2) 主な行事

* 日本古来から伝わる風習を伝え、社会への関心を持たせるためにいろいろな行事を行い、地域にも開放。行事予定については別紙参照。

* 年間を通して、地域とのつながりを大切にする地域交流、子育て応援コミュニティの場づくりを提案してゆく

* オンラインを通しての保護者会、個人面談、入園前説明会、入園式等の開催

(3) 健康管理

保健年間計画に基づき実施する。

【年間目標】

- * アレルギー児体質の園児に対しては、主治医の指示のもと、園と保護者が話し合い対応。
- * 与薬についても主治医の指示のもと、園と保護者が話し合い対応していく。
- * 園内や地域で感染症が発生した際は、その状況・病状について、掲示し、情報提供する。
- * 感染症対策
- * 新型コロナウイルスへの影響（町田市・保健所の指示に従う）

【健康診断・健康管理】

項目	実施回数	実施者
定期健康診断	年2回	嘱託医
歯科検診	年1回	町田歯科医師会
健康・衛生管理・指導	随時	本園看護師と連携による

(4) 栄養管理・食育目標

- ・ 給食年間計画の見直し。
- ・ 食品使用品目の見直し。
- ・ 正和学園の「もぐもぐシリーズ」の開発を促進協力する。
- ・ 「食べる」ことの楽しさ、喜び、意欲、を育む。
- ・ 旬の食材を知り、活動の中で発見できるよう配慮し、活動の幅を広げていく。
- ・ できるだけ自然食品や安全食品・発酵食品を取り入れる。（産地が分かるよう配慮する）
- ・ 季節の食材を使用し、いろいろな食品に慣れるよう調理方法を工夫する。
- ・ 咀嚼の発達を促すため、噛みごたえのある小魚(いりこ)やするめ等を提供する。
- ・ 行事食にも力を入れ、日本伝統食文化を伝えていく。
- ・ アレルギー児やその日の体調に配慮し、個別対応食を用意する。
- ・ 毎日の献立の掲示、献立表・おたよりの配布を通し子どもの食育活動の様子や適正量・

調理方法などを保護者に伝える。

- ・自分から食べたいという意欲を育て、適正量を考えられるよう配膳方法など工夫する。
- ・安定感とぬくもりのある陶器の食器を使用する。
- ・温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たくし、おいしく食べられるように工夫する。
- ・給食献立と保育の融合を図り、子どもたちへの保育活動を広げる。
- ・9月引渡し訓練の日は、災害時用備蓄食を使用し、職員全体で学び合う。

6、災害対策・安全管理

(1) 災害対策

- *毎月、火災・地震・自然災害を想定し、避難訓練を行う。9月には保護者協力のもと引き渡し訓練を行う。
- *AED研修 SIDS 午睡チェック研修
- *管轄の消防署に報告書を提出。
- *防災用品の一覧表を作成し、管理・補充を行う。
- *「子どもの見守りカード」を使い、引き渡しなどの確実性を向上する。
- *通報訓練の実施

(2) 安全管理

- *監視カメラで園周囲を監視し、防犯カメラで録画。玄関・各門の出入りは事務室からモニターで監視。
- *遊具・園舎の安全管理・事故防止マニュアル・チェック表作成、記録。
- *学校110番設置 アルソック非常ボタン設置
- *警察署交通安全指導
- *不審者対応訓練を年1回以上行う

7、職員の処遇

職員の処遇については、仕事と家庭生活が両立でき、個々が生きがいを持って働くことができる職場作りに努める。長く働けるように、休暇や産休・育休、短時間勤務、家族の看病のための休暇も取りやすい職場づくりをする。

職員休憩所をより快適に活用するための検討見直しを図る。職員休憩場所に原町田ラウンジを利用。

「処遇改善1・2及びキャリアアップ補助金」を活用し、職員の給与の処遇改善のみならず、より明確な組織とキ

キャリアパスを目指す。また、外部研修や関係園などとの合同研修や相互見学などを通し、保育者自身のモチベーションアップにつなげていく。

(1) 採用・産休等

職名	氏名	雇用区分	採用・異動年月日	備考
連携推進 CC	—	正規	2022.4.1	プラスより異動
コーディネーター	—	正規	2022.4.1	αへ異動
保育士	—	正規	2022.4.1	αへ異動
保育士	—	準正規	2021.10.1	入職
保育士	—	正規	2022.4.1	新規採用
保育士	—	非正規	2022.4.1	αより異動
保育士	—	非正規	2022.4.1	αより異動

【育休】なし

【産休予定】なし

(2) 職員の会議

会議名	開催日	参加者
職員会議	月1回	全職員
保育会議・行事打ち合わせ	随時	担当職員
給食会議	月1回	施設長・担当職員・給食職員
看護師会議 (NS 会)	月1回	看護師
事務会議 保育会議	月1回	施設長 主任
振り返りの時間	毎日 (土曜日除)	担当職員
委員会	月1回	担当職員
つながる会議	2ヵ月に1回	3年目以上の職員

(3) 職員研修計画

正和学園全体研修を実施予定。

2021年度は3年目の職員を中心に保育環境研修、チームビルディング研修を重点的に実施予定。

また、キャリアパスに応じたスキルアップの明示などと連動した、処遇改善の仕組みや、

委員会の計画内容を体系的に実施することで、各職員に応じた資質向上の取り組みにインセンティブを

与えられるよう委員会の内容に施設長は配慮する。

8、苦情解決システム

地域・保護者からの意見・要望・苦情を受け付け、記録を確実にとり、ふり返り次への対応を全職員と共に共有し保育サービスの向上に努める。

9、子ども家庭支援事業

*つながりひろば（おとあそび・おはなしポン・こどもヨガ）の開催

*つながる日の開催

***地域活動事業 次世代育成事業 育児不安の軽減 ふれあい事業 ゆったりラウンジカフェ**

10、施設・設備整備関係（課題を順次解消）

事務室配置換え

11、自己評価

*施設職員の自己評価

*運営安全対策・保健衛生・給食関係の自己評価

*保護者用第三者評価実施予定。

12、新規の取り組み

*まちぐるみの保育の展開。**子育て応援コミュニティ**の充実。おもちゃ美術館との連携

*町田市地域福祉計画 地区活動計画<町田第一地区>の活動団体の一員として協力できることを積極的に提示していく。

*町田市ボランティア団体「国際ソロプチミスト町田一さつきの原町田の花壇」に地域貢献協力として年間を通して苗植え・草取りなど計画する。